

**Science Citation Index® (SCI)
Social Sciences Citation Index® (SSCI)
Arts & Humanities Citation Index® (A&HCI)
利用ガイド**

**ISI® Compact Disc Editions
For Windows**

Institute for Scientific Information®



(株)紀伊國屋書店
電子情報部

目次

1 . ISI CD Editionsのスタートおよび終了方法	1
1.1. ISI CD Editionsのスタート	1
1.2. ISI CD Editionsの終了	1
2 . データベースを選択する	1
3 . 任意の単語やフレーズをもとに検索する	2
3.1. Fieldの指定	2
3.2. 検索上の留意点	3
4 . 検索結果の表示	6
4.1. 検索結果の表示形式	7
4.2. Display Options	9
5 . 検索式の保存・実行	10
5.1 検索式の保存	10
5.2. 検索式の実行・呼び出し	11
6 . 検索結果の保存・印刷	12
6.1 検索結果の保存	12
6.2 検索結果の印刷	13
7 . P I C (Personal Interest Checklist)	14
7.1 PICへ文献を登録	14
7.2 PIC文献の表示	14
7.3 PIC文献の保存・印刷	14
8 . Related Records™	15
8.1 Related Records™とは?	15
8.2 Related Recordsの表示方法	15

1. ISI CD Editionsのスタートおよび終了方法

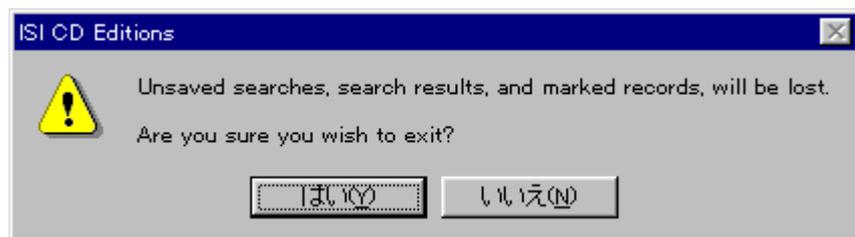
1.1 ISI CD Editionsのスタート



Citation Indexを起動するには  アイコンをダブルクリックします。

1.2 ISI CD Editionsの終了

Citation Indexを終了させるには、メニューバー「File」のプルダウンメニューより「Exit」を選択します。



“Unsaved searches, search results, and marked records, will be lost. Are you sure you wish to exit?”と確認してきますので、必要に応じてデータの保存を行ってください。

2. データベースを選択する

複数のCD-ROMにアクセスできる環境では（例えば6連装のCD-ROMチェンジャーにSCI CD Editionのannual版が複数年分収まっている場合など）、プログラムをスタートした際にアクセスできるデータベース（CD-ROM）のリストが現れますので、ここで目的のデータベースを選択してください。

プログラムを使用中に他のデータベースに切り替える場合は、メニューバー「File」のプルダウンメニューより「Open ISI Database(s)」か「Change Compact Disc」を選びます。

Open ISI Database(s)：複数のISIのCD-ROMにアクセスできる環境にある場合に選択します。アクセスできるデータベースのリストが現れますので、このリスト中から切り替えるデータベースを選びます。

Change Compact Disc：一つのCD-ROMにしかアクセスできない環境にある場合は、“Change Compact Disc”を選びます。この場合は、切り替えるデータベースをCD-ROMドライブにセットしてください。

* Information Update

メニューバー「File」のプルダウンメニューより「Information Update」を選択すると、雑誌が新しく収録されたまたは削除された等Journal Coverageの変更や、Journal Titleの変更等の情報を参照することができます。

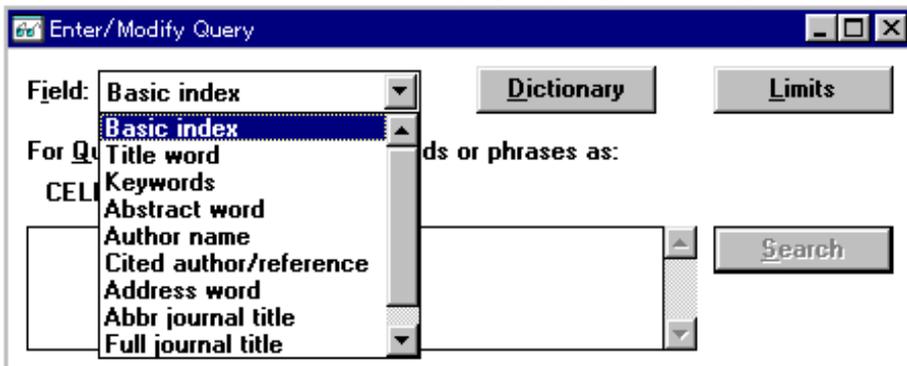
3 . 任意の単語やフレーズをもとに検索する

任意の言葉から文献を検索します。

データベースを選択すると、検索語入力 (Enter/Modify Query) 画面が表示されます。

3.1Fieldの指定

デフォルトではTitle word (Abstract版はBasic Index) になっています。Field欄右端のプルダウンボタンをクリックし、プルダウンメニューから検索項目を指定します。



以下の項目を検索の際のフィールドとして指定することができます。

- **Basic Index** : (Abstracts版のみ)
Title, Keywords/Keywords Plus*, Abstractsの3つのフィールドから検索。
- **Title word** :
論文タイトルから検索語、フレーズを検索。
- **Keyword** :
Author Keywords, Keywords Plus*に含まれる言葉を検索。
- **Abstract Word** : (Abstracts版のみ)
論文の抄録 (英文のみ) に含まれる言葉を検索。
- **Author name** :
ジャーナルのすべての著者・編者の名を収録。姓 + スペース + 名のイニシャルを入力。
- **Cited author/reference** :
ある著者の論文を誰がどこで引用しているかを調べることができます。さらに、同じトピックで現在どのような研究が行われているかを過去の文献から調べることも可能です。
- **Address word** :
論文著者の所属機関とアドレスを収録。
- **Abbr. journal title/Full journal title** :
ジャーナル名を略名 / フルで、あるいはトランケーションを使って入力。

* 検索履歴の集合番号をかけあわせて検索する場合は「Set Combination」を指定します。

入力例 : 1 AND 2

(* キーワードプラスとはISI社が独自につけたキーワードで、参考文献のタイトル中で、表れる頻度の高い語句をキーワードとして採用しています。)

・検索語の入力

Fieldを指定したら、次に検索したいキーワードを入力し「Search」をクリックすると、"Search Status"ウィンドウが表示され、検索結果件数が表示されます。

「Results」ボタンをクリックすると詳細が表示されます。

3.2検索上の留意点

3.2.1 トランケーションを用いる

* (アスタリスク)によって、語尾変化を伴う単語を前方一致・中間一致検索したり、これにより複数形と単数形の違いをマスクしたりすることができます。

(但し、後方一致検索はできませんので注意下さい。)

例) : 「superconduct*」はsuperconductor、superconductors、superconductivity、superconductiveなどを検索します。

3.2.2 論理演算による検索

次の演算子によって複数の単語、または複数のSetを論理演算することができます。

AND (論理積)

A and B . . . AとB両方の単語を持っている文献を検索します。

OR (論理和)

A or B . . . AまたはBいずれかの単語を持っている文献を検索します。

NOT (論理差)

A not B . . . AからBを除いた文献を検索します。

THRU

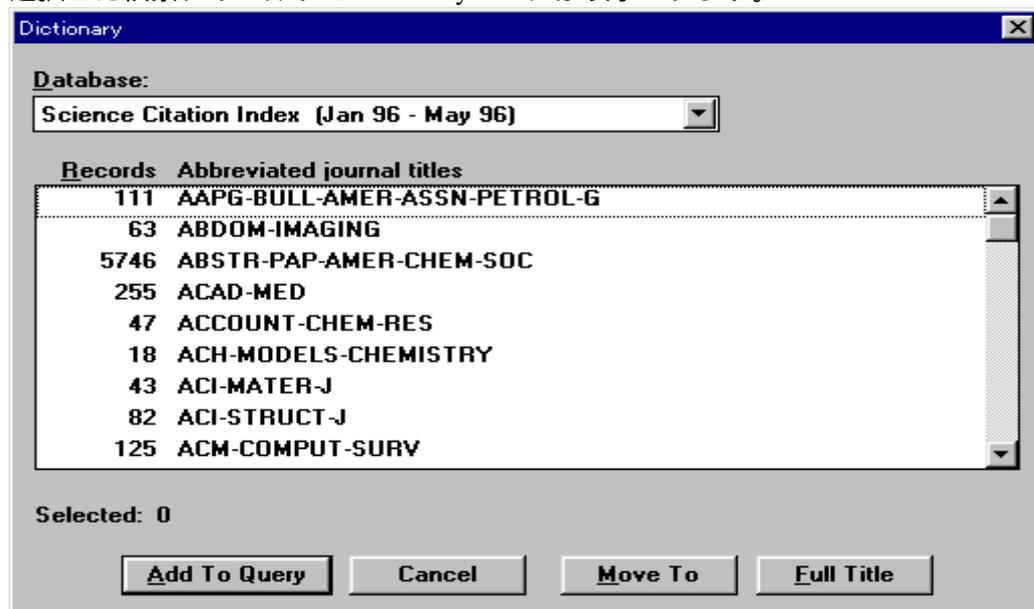
1 THRU 5 . . . いくつかのSetsを演算子ORで結び付けるのと等しい役割を果たします。

(1 or 2 or 3 or 4 or 5)

3.2.3 Dictionaryを参照する

Dictionaryによって検索語や収録誌名を参照し、検索を行うことができます。

Dictionaryを表示させたい検索フィールドをプルダウンリストから選択し、「Dictionary」ボタンをクリックすると、選択した検索フィールドのDictionaryページが表示されます。



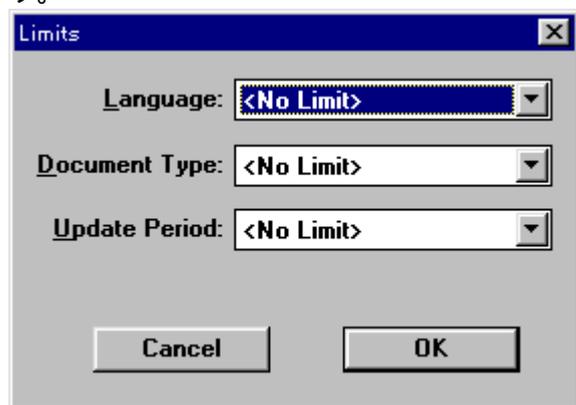
ここで検索したい言葉をクリックして選択し、「Add To Query」ボタンをクリックしてください。選択した言葉が自動的に検索語入力欄に入力されます。

* 索引上の検索語はアルファベット順に並んでいます。M, T, ZなどAから遠い語句を選ぶ場合、「Move to」ボタンをクリックしてください。キーワード入力欄が表示されますので、任意のアルファベットを入力し「Move」をクリックすると、そのアルファベットで始まる語句が索引上に反映されます。

3.2.4 Limitを設定する

検索対象をより絞り込むために検索対象の制限 (Limit) を設定することができます。Search画面で「Limits」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

ここで、Language, Document Type, Update Periodによる検索対象の制限を設けます (初期設定はすべて<No Limit>です)。指定内容はプルダウンメニューより選択します。一度設定したLimitはもう一度設定を変更するまで有効です。

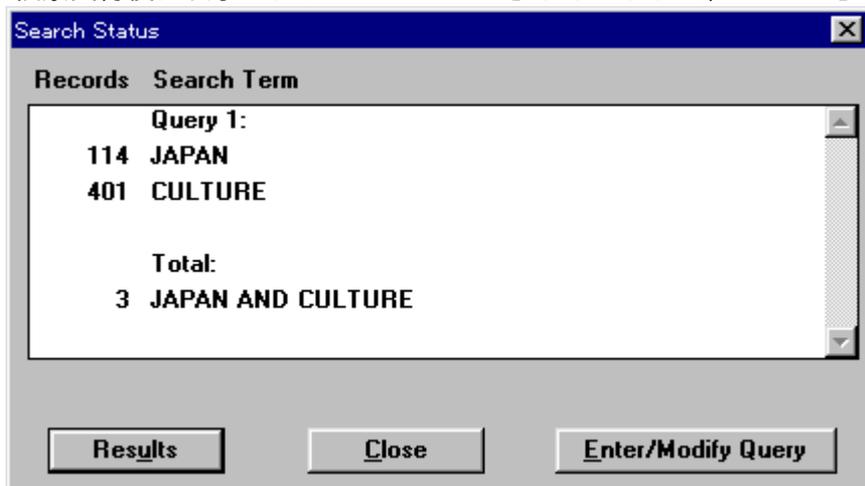


- ・ Language : 検索対象を制限する言語を指定します。
- ・ Document Type : 検索対象を制限する文献のタイプを指定します。
- ・ Update Period : 検索対象を最新の更新で加わった論文だけに制限することが可能です。

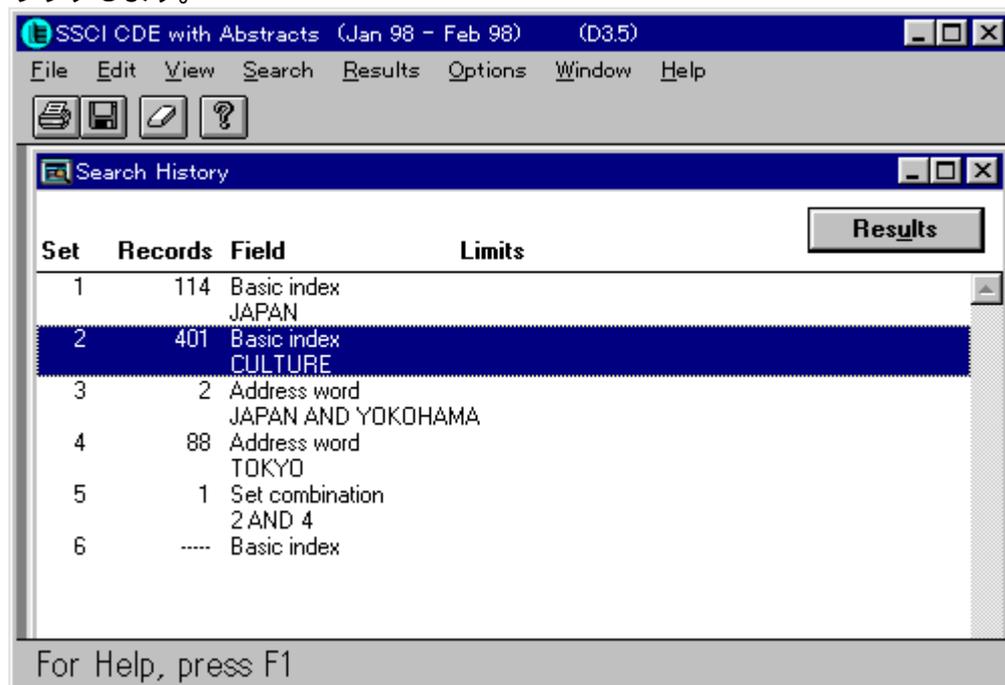
4. 検索結果の表示

Search で文献を検索した結果を表示する場合は、以下の方法があります。

1. 検索実行後に表示される「Search Status」ウィンドウで、「Result」ボタンをクリックします。

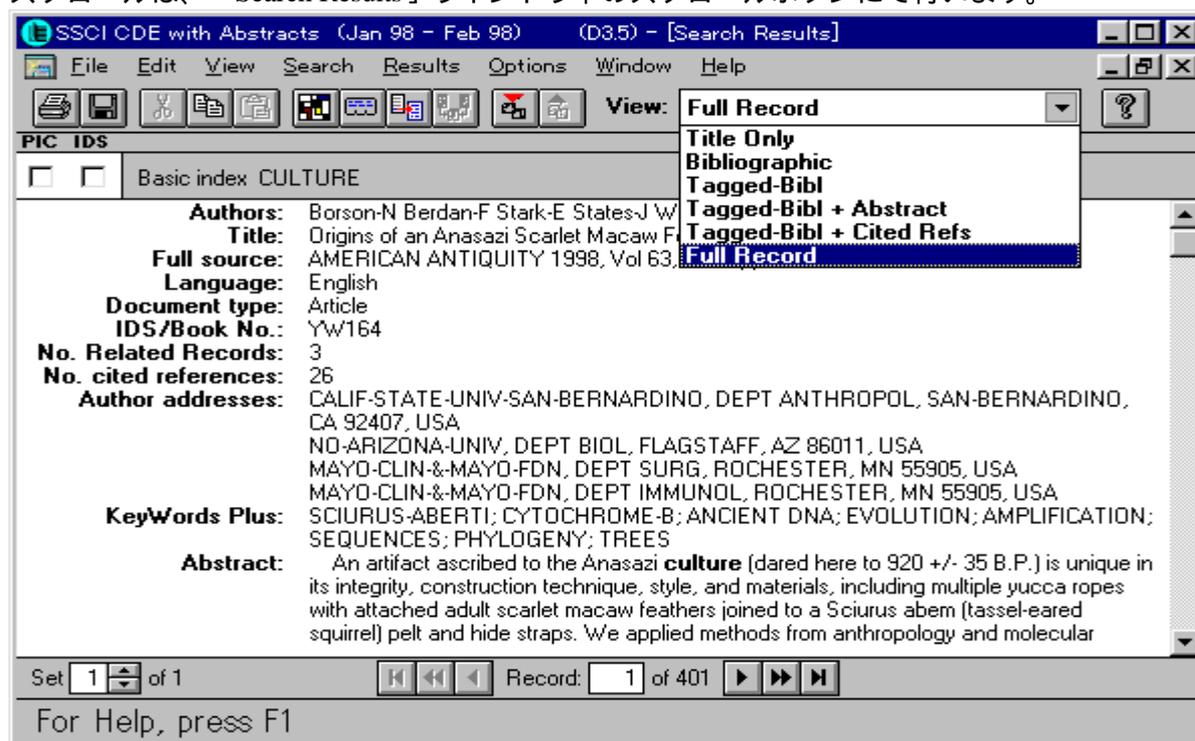


2. Search Historyウィンドウで結果を表示したいSetを選択し「Results」ボタンをクリックするか、Set行をダブルクリックします。



次の様に詳細が表示されます。

スクロールは、「Search Results」ウィンドウ下のスクロールボタンにて行います。



4.1 検索結果の表示形式

詳細を表示させると画面上側に「View:」という項目が表示されます。

プルダウンメニューにより表示形式を選択できます。

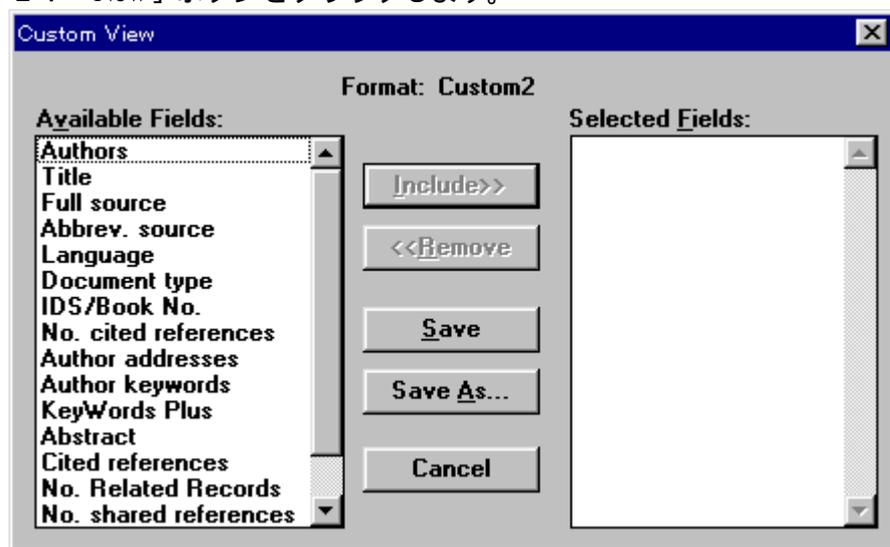
各形式は以下の項目を表示します。

- Title Only :
文献タイトルのみ
- Bibliographic :
著者名、文献タイトル、収録誌（含む巻号数、刊行年、ページ数）、Related Recordsの総数（最高20論文まで参照できます）、引用文献の総数
- Tagged-Bibl :
Bibliographicをタグ形式で表示
- Tagged-Bibl + Abstract (Abstracts版のみ) :
Bibliographicと抄録をタグ形式で表示
- Tagged-Bibl + cited Refs :
Bibliographicと引用文献をタグ形式で表示
- Full Record :
著者名、文献タイトル、収録誌、言語、文献タイプ、フルテキスト文献の請求番号、Related Recordsの総数（最高20論文まで参照できます）、引用文献の総数、著者住所、KeyWord Plus*、抄録（Abstract版のみ）、引用文献

* 項目を指定して表示する (Custom View)

表示する項目を個々に設定することが可能です。

- 1 . メニューバー「View」のプルダウンメニューより「Custom View」を選択します。
- 2 . 「New」ボタンをクリックします。



- 3 . 画面左側には全てのフィールドがリストされています。この一覧より表示したいフィールドを選択し、「Include」ボタンで画面右側に表示させます。
- 4 . 「Save」ボタンをクリックし、ファイル名をつけて保存します。
- 5 . 詳細表示画面上側「View : 」のプルダウンメニューに保存したファイル名が追加されます。

4.2 Display Options

Display Optionsを使うことによって、1つの検索結果から更に検索を深めることができます。

4.2.1 Related Records™

複数の論文が引用文献を共有している場合、それらは関連のある論文と考えられます。詳細表示画面においてメニューバー「Results」のプルダウンメニューより「Related Records」を選択すると、現在画面上にある論文、または画面上でハイライトされている論文の関連論文(Related Records)を参照することができます。(詳しくはP15「Related Records」を参照下さい。)

4.2.2 Cited References

詳細画面表示においてメニューバー「View」のプルダウンメニューより「Cited References」を選択すると、画面に表示されている論文の引用文献リストが現れます。引用文献は次のような省略形になっています。

引用文献の著者 引用雑誌名

SPANIER-GB-1976-J-MARRIAGE-FAM-V38-P15

刊行年

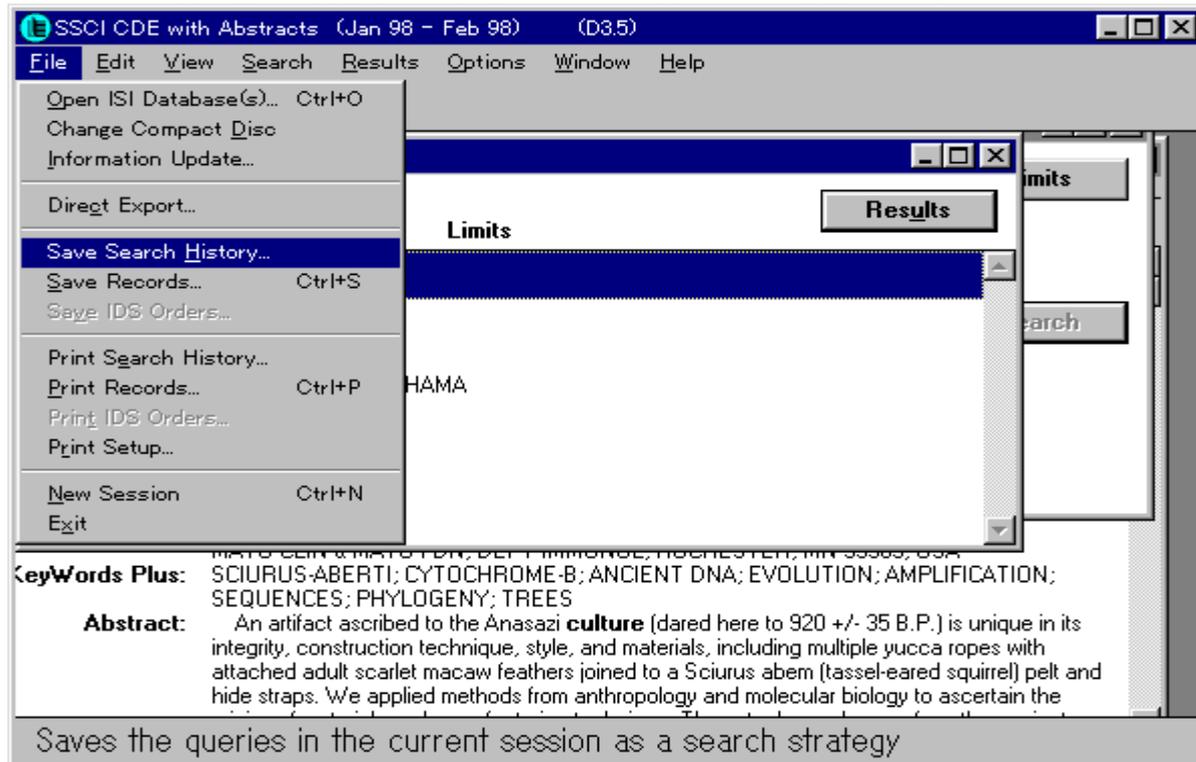
VolumeとPage

5 . 検索式の保存・実行

5.1検索式の保存

Searchで作成した検索式をファイルに保存する場合には、下記の操作を行います。

- 1.保存したい検索式を実行します。
- 2.Search History画面を表示させます。
- メニューバー「File」のプルダウンメニューより「Save Search History」を選択します。
- 3.「ファイル名を付けて保存」より任意のファイル名を入力し保存します。



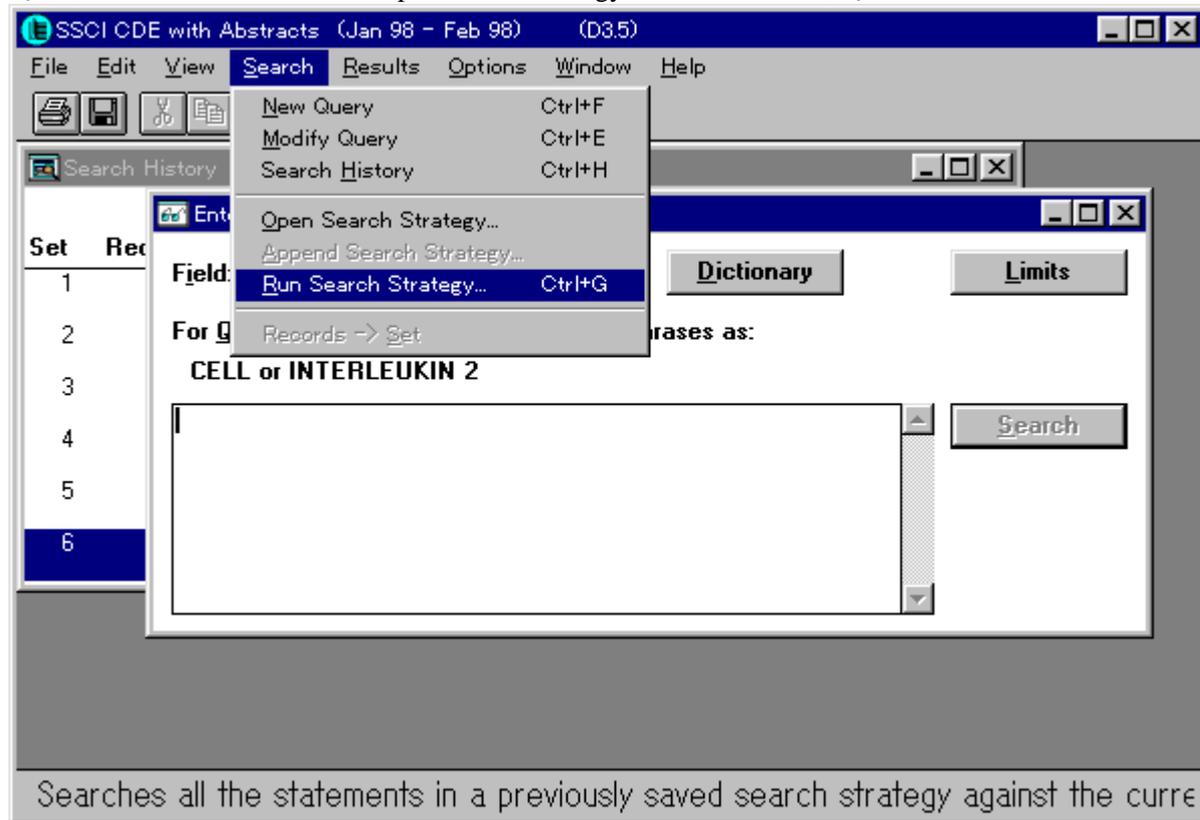
5.2 検索式の実行・呼び出し

既に保存してある検索式を実行する場合には、下記の操作を行います。

1. Enter/Modify Query画面を表示させます。

メニューバー「Search」のプルダウンメニューより「Run Search Strategy」を選択します。

(検索式を呼び出す場合は「Open Search Strategy」を選択します。)



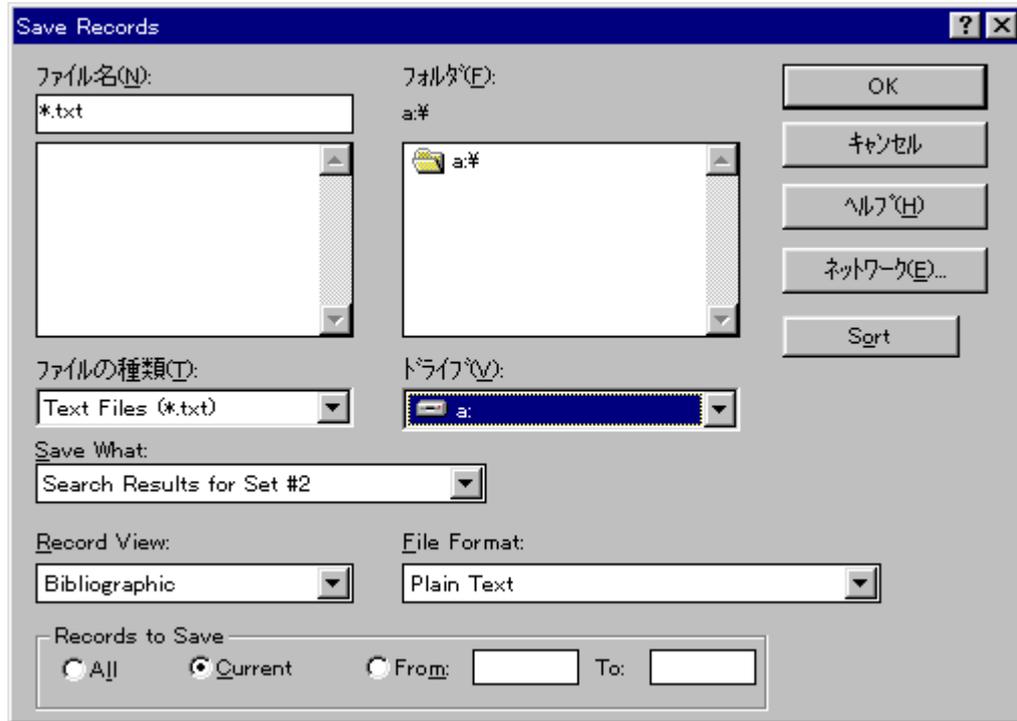
2. 「Run Strategy」より実行したいファイルを選択し「OK」をクリックします。

呼び出した検索式が実行されます。

6 . 検索結果の保存・印刷

6.1検索結果の保存

文献情報をフロッピーディスクやハードディスクにダウンロードする場合は、メニューバー「File」のプルダウンメニューより「Save Records」を選択します。



ここでは文献情報をどのように保存するかの設定を行います。設定の変更が無い場合はそのまま「OK」をクリックして下さい。文献情報が指定の場所に指定のファイル名で保存されます。必要に応じて設定を変更してください。

Save What :

保存する対象を選択します。検索式の集合番号 / Personal Interest Checklist Records / ISI Document Solution Records

Record View :

保存する文献情報の種類を指定します。Title Only / Bibliographic / Tagged-Bibl / Tagged-Bibl+Abstracts / Tagged-Bibl+Cited Refs / Full Record (詳細はP7参照)

File Format :

文献を保存する際、どのような形(フォーマット)で保存するかを指定します。

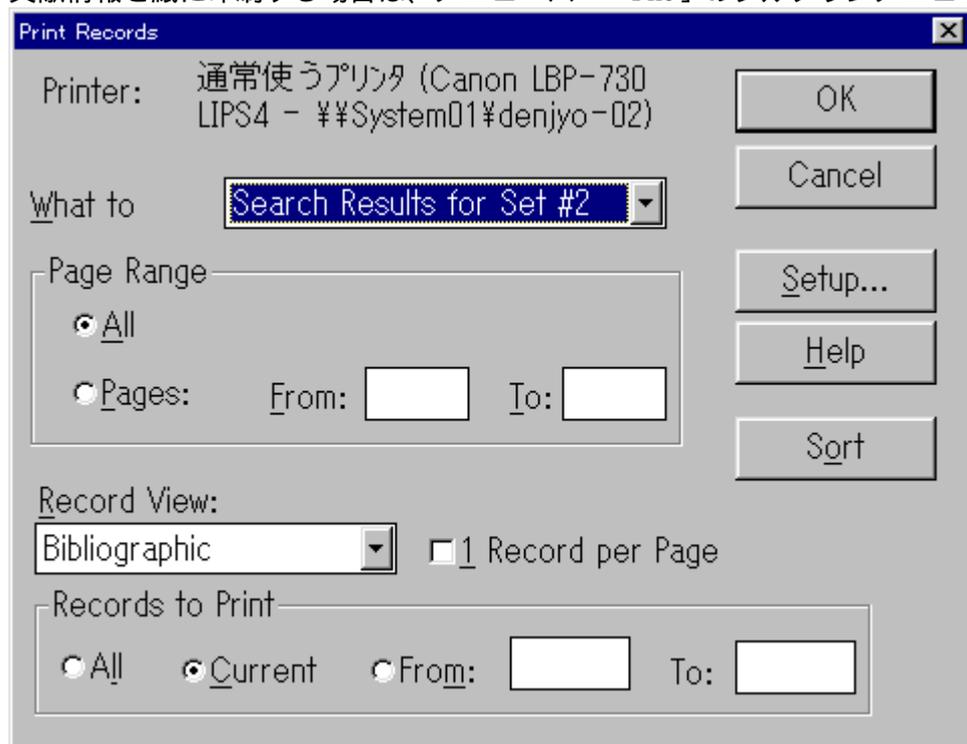
- Plain Text...画面に表示されているイメージそのままにダウンロードされます。
- Comma-Delimited...Fieldsはコンマで区切られ、それぞれ情報は、ダブルクォーテーションマーク(”)でくくられます。
- Procite...「Procite」で文献情報を利用する場合の形式
- DIALOG-Medline...Dialog社の「MEDLINE」のデータ形式で出力されます。Reference Managerやその他のデータベースソフトを利用できます。
- NLM-Medline...NLMの「MEDLINE」のデータ形式で出力されます。
- EndNote...「EndNote」で文献情報を利用する場合の形式
- Reference Manager...「Medline」フォーマット。Reference Managerで文献情報を利用できます。

Records to Save : 保存する文献を選択します。 All / Current / From X to Y

Append / Replace : 保存のたびに新しいファイルに登録せず特定ファイルに情報を付け加えていくか、そのファイルの前情報に上書きしてしまうかを指定します。既存のファイル名を選択すると、Append or Replaceのメッセージが表示されます。

6.2 検索結果の印刷

文献情報を紙に印刷する場合は、メニューバー「File」のプルダウンメニューより「Print Records」を選択します。



指定に変更が無い場合はそのまま「OK」をクリックして下さい。文献情報がプリントされます。必要に応じて設定を変更してください。

What to :

印刷する対象を選択します。 検索式の集合番号 / Personal Interest Checklist Records / ISI Document Solution Records

Page Range :

印刷ページ範囲を指定します。 All / From X to Y

Record View :

印刷する文献情報の種類を指定します。 Title Only / Bibliographic / Tagged-Bibl / Tagged-Bibl+Abstracts / Tagged-Bibl+Cited Refs / Full Record (詳細は P7参照)

Records to Print : 印刷する文献を選択します。 All / Current / From X to Y

7 . P I C (Personal Interest Checklist)

7.1 PICへ文献を登録

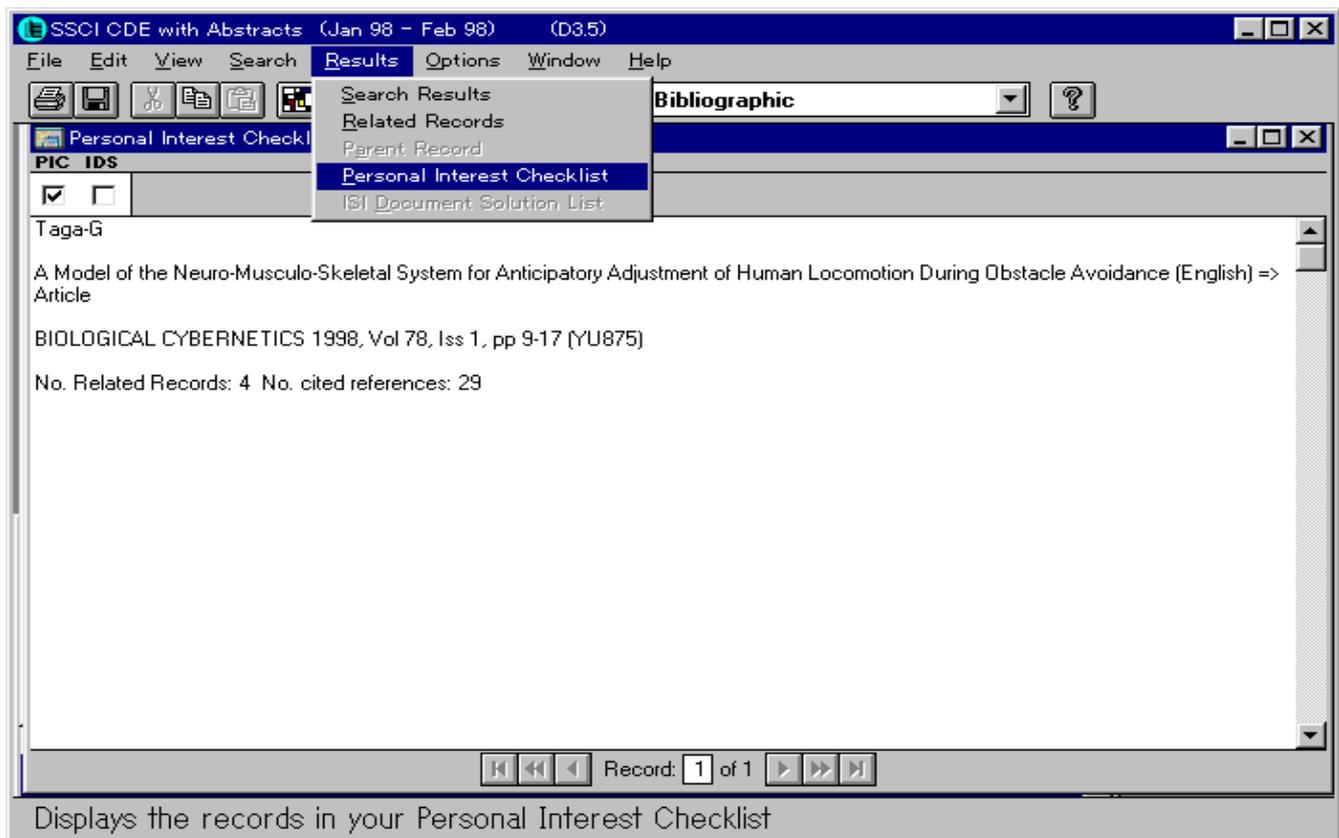
PICは検索した結果の中で、必要な文献だけを選択して表示、保存、印刷できる機能です。
必要な文献があった場合、



検索結果の詳細表示画面左上の——をクリックして選択し、登録します。

7.2 PIC文献の表示

PICに登録されている文献を表示する場合は、メニューバー「Results」のプルダウンメニューより「Personal Interest Checklist」を選択します。



7.3 PIC文献の保存・印刷

PIC文献を保存・印刷する場合は、メニューバー「File」のプルダウンメニューより「Save(Print) Records」を選択します。保存・印刷対象でPersonal Interest Checklist Recordsを選択します。

8 . Related Records™

8.1 Related Records™とは？

Related Recordsとは、検索で導き出した論文と一つ以上の引用文献を共有している論文のことを指す、ISIの Citation Index CD版特有の概念です。例えば、2人の著者が同一の文献を引用している場合、双方の論文のテーマに関連性がある確率が高いと言えます。

Related Records™のメリット

タイトルワードに共通する単語がなくても、Related Recordsをブラウズするだけで特定の主題に関する関連論文を発見することが可能です。

タイトルワードや著者名からの検索からは得られない検索結果を得ることができます。複雑な検索式で検索するよりも、このRelated Recordsをブラウズするほうが効率よく、かつより良い検索結果を得られる場合があります。

Related Recordsから次の検索へのヒントが得られる場合があります。例えば、タイトルワード検索を行った後にRelated Recordsをブラウズすると、同義語や他の類似単語等を見つけることができますので、これらの単語をもとにさらに幅の広い検索を行うことができます。

8.2 Related Records™の表示方法

Related Recordsを表示させるには、メニューバー「Results」のプルダウンメニューより「Related Records」を選択してください。

8.2.1 Parent RecordsとRelated Records™のレベル

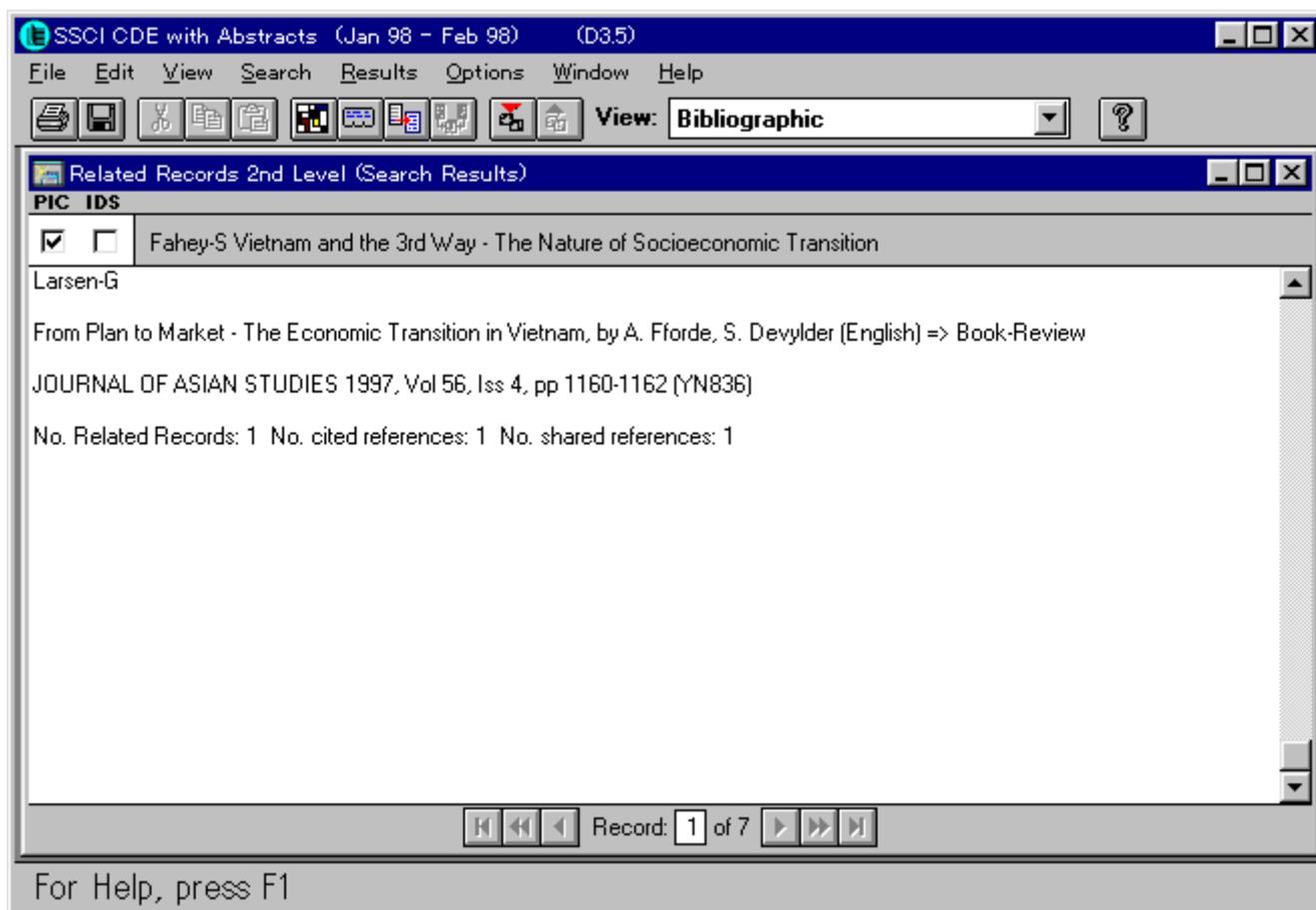
Parent Recordsとは？

Related Recordsを導き出すもとになった論文をparent recordと呼びます。1つのparent recordに対してRelated Recordsは最大20件表示されます。20件以上存在する場合は、最も関連性が高い上位20件のRelated Recordsが表示されます。

Related Records™のレベル

Related Recordsはさらにそれ自身のRelated Recordsを持っています。これをブラウズするためには、メニューバー「Results」のプルダウンメニューより「Related Records」を選択してください。

Related Recordsが表示されているウィンドウの上部にLevelが表示され、これにより現在最初のparent recordから何段離れているかが分かります。



Level2は、現在表示されている論文が1段階前に表示されていた論文と関連があり、さらにその論文はその1段階前に表示されていた論文に関連があるということを意味します。

なお、このレベルは5段階まで表示でき、メニューバー「Results」のプルダウンメニューより「Parent Record」を選択することにより1レベルごとに戻ることができます。

8.2.2 Shared References

Related Records™の画面では、常にRelated RecordとParentが共有している引用文献（shared references）の数が表示されます。共有引用論文数が多ければ多いほど論文どうしの関連性が高いと言えます。なお、Related Recordsはshared referencesの多い順に表示されます。

shared referencesを参照するには、メニューバー「View」のプルダウンメニューより「Shared References」を選択してください。